A large background image showing various industrial machinery and components, including what appears to be a large cylindrical machine and various pipes and fittings. The Ferro Tec logo is overlaid on the left side of this image.

株式会社フェローテック

2013年3月期 決算説明会資料

2013年5月28日

(ジャスダック6890)

<http://www.ferrotec.co.jp/>

1. 当期連結決算においては、連結子会社・持分法適用会社は2012年1月～12月末の業績、フェローテック単体は、2012年4月～2013年3月末の業績を連結しております。
2. 本資料は、2013年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
3. 本資料は2013年5月28日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり予告なしに変更されることがあります。



2013年3月期業績報告

連結決算サマリー



百万円	2012年3月期		2013年3月期		前期比	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	金額	増減率(%)
売上高	60,088	100.0	38,424	100.0	△21,664	△36.1
売上原価	43,564	72.5	31,448	81.8	△12,116	△27.8
売上総利益	16,523	27.5	6,976	18.2	△9,547	△57.8
販売管理費	12,399	20.6	10,584	27.5	△1,815	△14.6
営業利益	4,124	6.9	△3,608	-	△7,732	-
営業外収益	414	0.7	1,155	3.0	741	179.0
営業外費用	1,251	2.1	1,012	2.6	△239	△19.1
経常利益	3,287	5.5	△3,465	-	△6,752	-
特別利益	133	0.2	1,637	4.3	1,504	1130.8
特別損失	606	1.0	4,330	11.3	3,724	614.5
当期純利益	1,715	2.9	△6,532	-	△8,247	-
設備投資額	7,877	-	3,706	-	△4,171	△53.0
減価償却費	2,825	-	3,321	-	496	17.6

注 為替レート2012/3期→2013/3期：米ドル 79.6円→80.1円 人民元 12.3円→12.7円(期中平均レート)

連結決算サマリー

百万円	2013年3月期	
	金額	売上比(%)
売上高	38,424	100.0
売上原価	31,448	81.8
売上総利益	6,976	18.2
販売管理費	10,584	27.5
営業利益	△3,608	-
営業外収益	1,155	3.0
営業外費用	1,012	2.6
経常利益	△3,465	-
特別利益	1,637	4.3
特別損失	4,330	11.3
税前利益	△6,158	-
法人税等	591	1.5
当期純利益	△6,532	-

低価法による評価損等1,884百万円により原価率悪化

貸倒引当金繰入額853百万円含む

為替差益871百万円含む

特別利益に土地売却益1,548百万円含む
特別損失に事業構造改革費用3,657百万円含む

繰延税金資産取崩等561百万円含む

セグメント別売上高および営業利益



売上高 (単位:百万円)	2012年3月期		2013年3月期		前期比	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	増減額	増減率(%)
装置関連	24,883	41.4	18,867	49.1	△6,016	△24.2
電子デバイス	5,337	8.9	4,563	11.9	△774	△14.5
太陽電池	27,357	45.5	12,345	32.1	△15,012	△54.9
その他	2,509	4.2	2,648	6.9	139	5.5
合計	60,088	100.0	38,424	100.0	△21,663	△36.1

営業利益 (単位:百万円)	2012年3月期		2013年3月期		前期比	
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	増減額	増減率(%)
装置関連	2,499	10.0	137	0.7	△2,362	△94.5
電子デバイス	555	10.4	257	5.6	△298	△53.7
太陽電池	775	2.8	△3,934	-	△4,709	-
その他	368	14.7	△8	-	△376	-
全社消去	△73	-	△61	-	12	-
合計	4,124	6.9	△3,608	△9.4	△7,732	-

連結貸借対照表 ～資産～



(百万円)	2012/3期 期末	2013/3期 期末	増減額
流動資産	41,330	34,271	△7,059
現金・預金	9,560	7,373	△2,187
受取手形及び売掛金	13,921	15,235	1,314
たな卸資産	11,987	9,536	△2,451
固定資産	31,241	32,072	831
有形固定資産	25,397	24,914	△483
建物及び構築物	5,279	5,409	130
機械装置・運搬具	7,205	10,165	2,960
工具、器具、備品	4,813	5,980	1,167
土地	2,718	704	△2,014
無形固定資産	2,368	1,683	△685
のれん	1,118	769	△349
投資その他資産	3,475	5,473	1,998
資産合計	72,571	66,343	△6,228

【流動資産減少の主な要因】

現金・預金の減少2,187百万円、棚卸資産の減少2,451百万円及び流動資産の「その他」2,703百万円(長期購買契約に関わる前渡金の減少が主)

【有形固定資産減少の主な要因】

日本社土地売却による減少

【無形固定資産の状況】

のれん償却額: 実績: 456百万円

(34期は1社上期で償却終了のため162百万円の見込み)

連結貸借対照表 ～負債及び純資産～



(百万円)	2012/3期 期末	2013/3期 期末	増減額
流動負債	29,592	27,243	△2,349
支払手形及び買掛金	8,610	8,554	△56
短期借入金	11,834	9,667	△2,167
1年内返済予定の 長期借入金	3,177	2,867	△310
固定負債	8,792	8,660	△132
転換社債	200	-	△200
長期借入金	5,856	5,836	△20
負債合計	38,384	35,904	△2,480
純資産	34,186	30,439	△3,747
株主資本	36,311	29,366	△6,945
その他の包括利益累計額	△2,923	399	3,322
少数株主持分	799	673	△126
負債・純資産合計	72,571	66,343	△6,228

【流動負債減少の主な要因】

短期借入金、設備未払金の減少

【有利子負債の状況】 ()内は12/3期末時点の数値

短期借入+1年内長期借入 12,534百万円 (15,011)

長期借入+社債等 5,836百万円 (6,056)

合計 18,370百万円 (21,068)

【ネット有利子負債 10,997百万円 (11,508)】

【純資産項目】

株主資本:

当期純利益 : △6,532百万円

配当金 : △612百万円

為替換算調整勘定 : 3,211百万円

キャッシュフロー計算書



(百万円)	2012/3期	2013/3期
営業活動によるキャッシュフロー	642	1,584
税引前当期純利益	2,814	△6,158
減価償却費	2,825	3,321
為替差損益(△:益)	△68	△336
事業構造改革引当金の増減(△:減少)	0	1,579
売上債権の増減(△:増加)	660	393
たな卸資産の増減(△:増加)	△2,960	3,377
仕入債務の増減(△:減少)	△1	△1,385
その他	△2,628	793
投資活動によるキャッシュフロー	△8,492	△401
有形固定資産取得による支出	△7,877	△3,706
有形固定資産の売却による収入	186	3,480
投資有価証券、有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券、有価証券の売却による収入	29	6
その他	△829	△180
財務活動によるキャッシュフロー	10,098	△3,991
短期借入金の増減額	4,845	△2,848
長期借入れによる収入	3,435	3,500
長期借入金の返済による支出	△3,679	△3,926
株式の発行による収入	6,091	-
配当金の支払額	△498	△609
その他	△96	△108
現金及び現金同等物の増加額	2,249	△2,187
現金及び現金同等物の期首残高	7,310	9,560
現金及び現金同等物の期末残高	9,560	7,373

【営業CFの状況】

税前利益+減価償却：
 △2,837百万円
 事業構造改革引当金増加による営業CFの増加：
 1,579百万円
 売上債権減少による営業CFの増加：
 393百万円
 棚卸資産減少による営業CFの増加：
 3,377百万円
 仕入債務減少による営業CF減少：
 △1,385百万円

【投資CFの状況】

有形固定資産取得支出は主に中国子会社での設備
 増強投資
 有形固定資産売却収入は、主に旧本社土地の売却

通期業績見通し



(百万円)	2013/3期	2014/3期(計)	前期比 (%)
売上高	38,424	42,000	9.3
営業利益	△3,608	1,000	-
経常利益	△3,465	700	-
当期純利益	△6,532	450	-
設備投資額	3,706	1,500	△59.5
減価償却費	3,321	3,600	8.4

注 為替レート2013/3期→2014/3期予想レート：米ドル 80.1円→95.0円 人民元 12.7円→15.0円

設備投資は、大規模設備投資未計画、前期末設備未払金を考慮したCFベースの数値です。

通期業績見通し

(百万円)	2014/3期 予想
売上高	42,000
営業利益	1,000
経常利益	700
当期純利益	450

半導体市場で微細化投資や、FPD市場でもモバイル用パネルなどの投資が始まる。消耗品であるマテリアル製品が回復に転じる。サーモモジュールの民生用途が拡大

不採算事業の整理が終わり、また、コストダウンの継続と販売管理費の削減が功を奏し、黒字化の体質に転換

借入金の減少に伴う金利負担の軽減と、為替相場の円安基調を見込む

特別損失の計上が終了し、通常時に回帰して黒字化の見通し

通期業績見通し(セグメント別売上高)



(百万円)		2013/3期	2014/3期(計)	前期比 (%)
装 置 関 連		18,867	22,305	18.2
	真空シール	4,686	5,340	14.0
	石英製品	3,420	4,087	19.5
	セラミックス	4,108	4,350	5.9
	EBガン・LED蒸着装置	2,724	3,529	29.6
	ウエーハ加工	3,930	4,999	27.2
電 子 デ バ イ ス		4,563	5,282	15.8
	サーモモジュール	4,126	4,764	15.5
	磁性流体・その他	438	518	18.3
太 陽 電 池		12,345	11,173	△9.5
	石英坩堝	2,709	3,952	45.9
	太陽電池用シリコン	5,509	6,268	13.8
	シリコン結晶製造装置	2,280	150	△93.4
	セル・その他	1,847	804	△56.5
そ の 他		2,648	3,240	22.4
合 計		38,424	42,000	9.3



2013年3月期業績報告

セグメント別の状況と今後の見通し

セグメント



真空シール

石英製品

セラミックス製品

蒸着装置

その他、半導体ウェーハ

磁性流体

サーモモジュール

シリコン結晶製造装置

単結晶用

多結晶用

消耗品群

石英坩堝

カーボン坩堝

太陽電池用シリコン(インゴット)

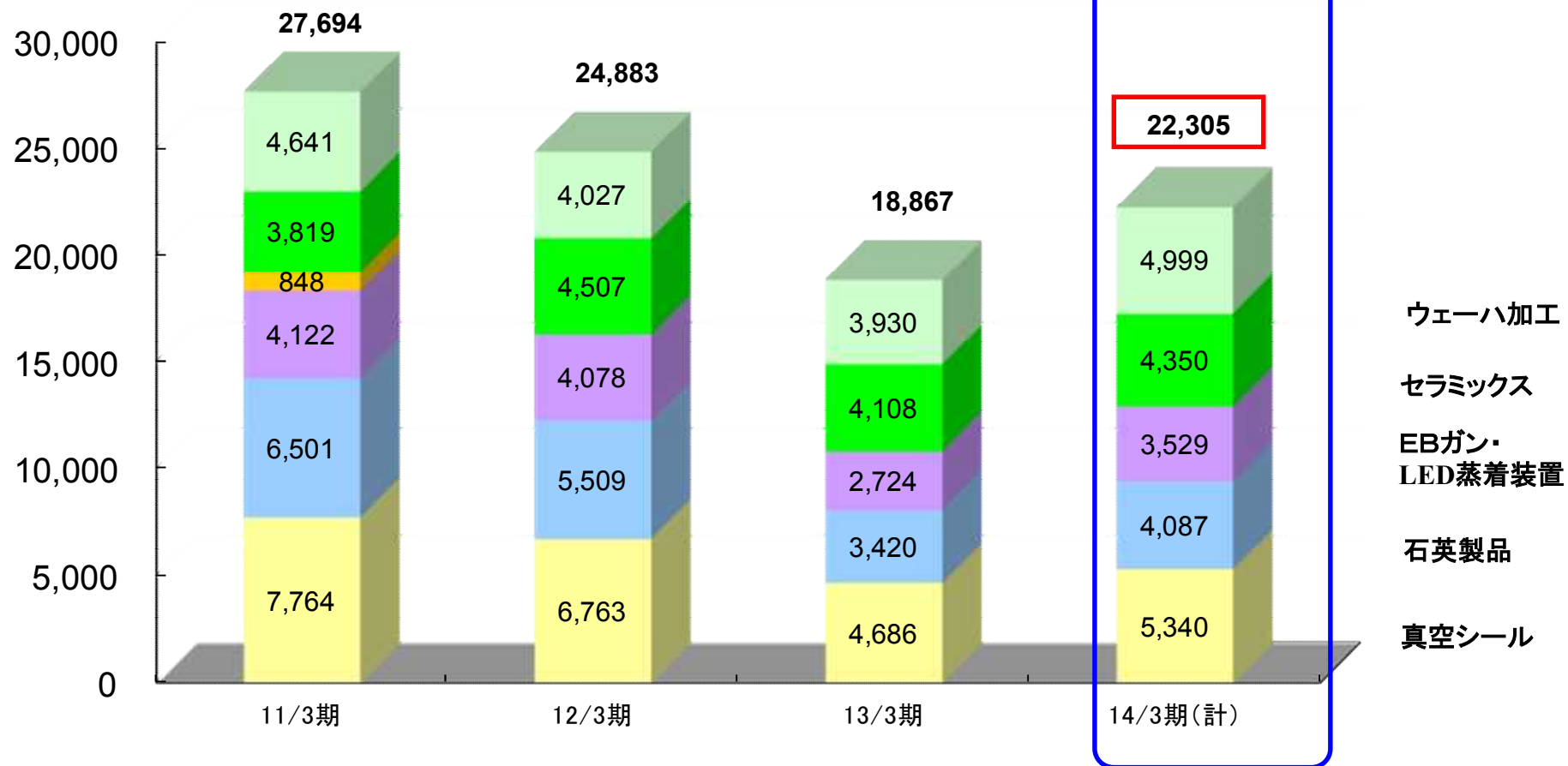
単結晶

多結晶

PV用ウェーハ

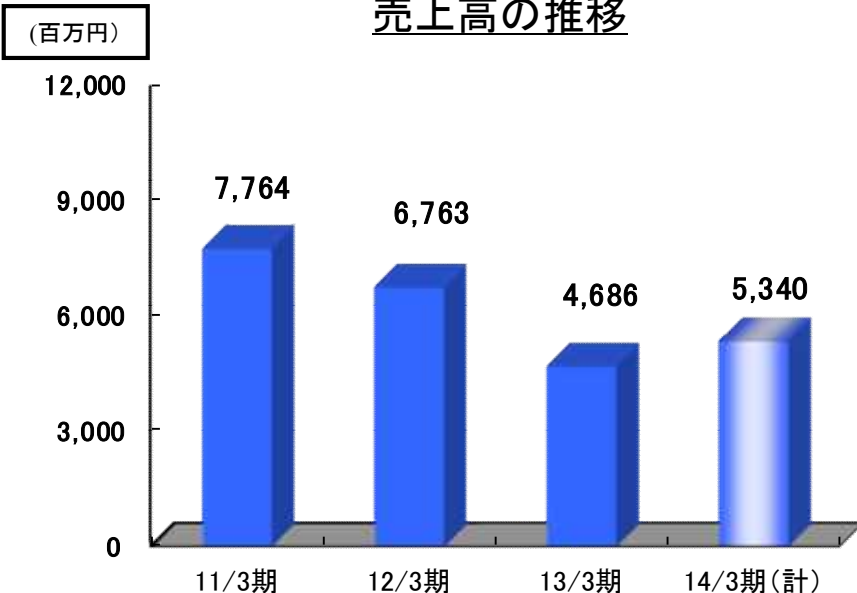
装置関連セグメント

売上高
(百万円)

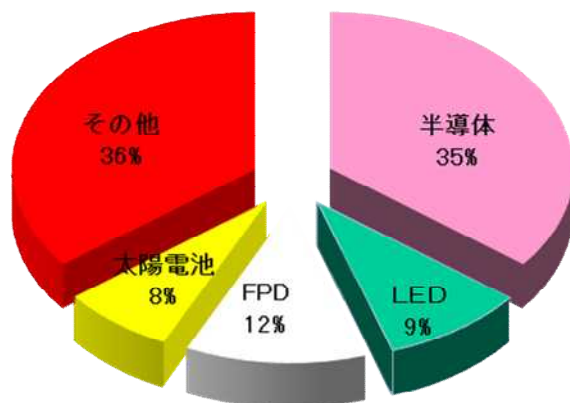


— = 半導体用シリコン製品は、2012/3期より、ウェーハ加工へ移動しております。

売上高の推移



真空シール関連事業の販売先業種別シェア



注) その他: 産業用真空装置、航空、医療、科学など

1. 13/3期の業績

- 半導体市場、設備投資意欲は年間をとおり低迷
- LED市場、価格下落とともに投資意欲は減衰したまま
- FPD市場は、モバイル用もTV用投資はほとんどなし
- 欧州光学装置向けの需要が若干回復
- ロボットメーカー向け、需要が徐々に減少した

2. 14/3期の見通し

- FPD市場は、中国でのTV用大型液晶、モバイル用高精細中小型液晶及び有機EL用製造装置への設備投資に期待。

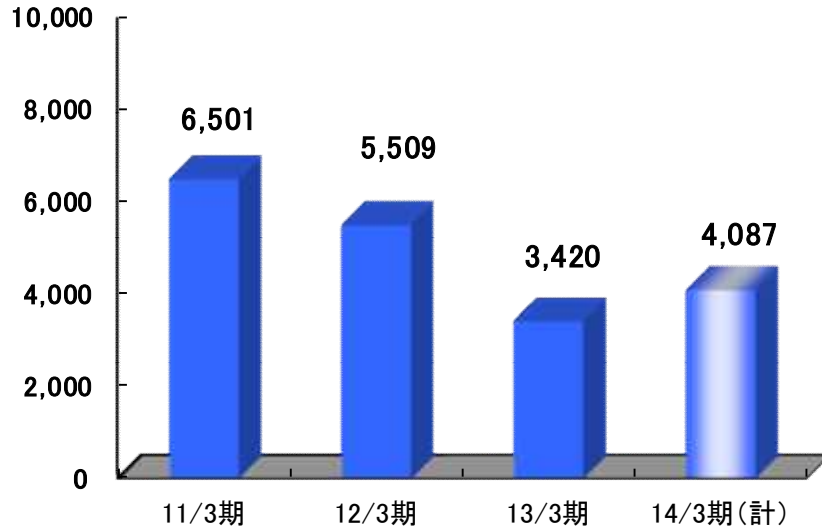
- 半導体市場は、大手企業で投資が再開され、上期半ばから、下期に向け徐々に回復の見通し
- 欧州市場は、依然 横ばいのまま
- ロボットメーカー向け、徐々に回復の兆し

《施策》

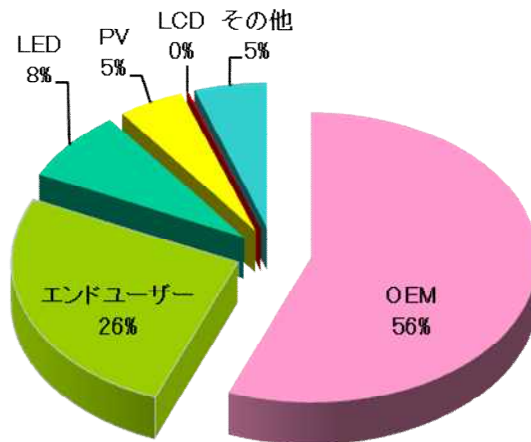
- 一般産業向けにチャンバー受注開始
- 受託装置サブアッセンブリーの需要を喚起
- エンジニアリング・アフターサービスの提供

売上高の推移

(百万円)



石英製品の販売先業種別シェア



1. 13/3期の業績

- 通期にわたり、顧客の稼働率低下(DRAM不況による在庫滞留)で受注減少に終止
- 国内・米国大手OEMも受注減少のまま生産縮小
- LED市場向け、価格競争激化で値引き要請圧力
- アジア企業の再投資計画が延期となり受注減

2. 14/3期の見通し

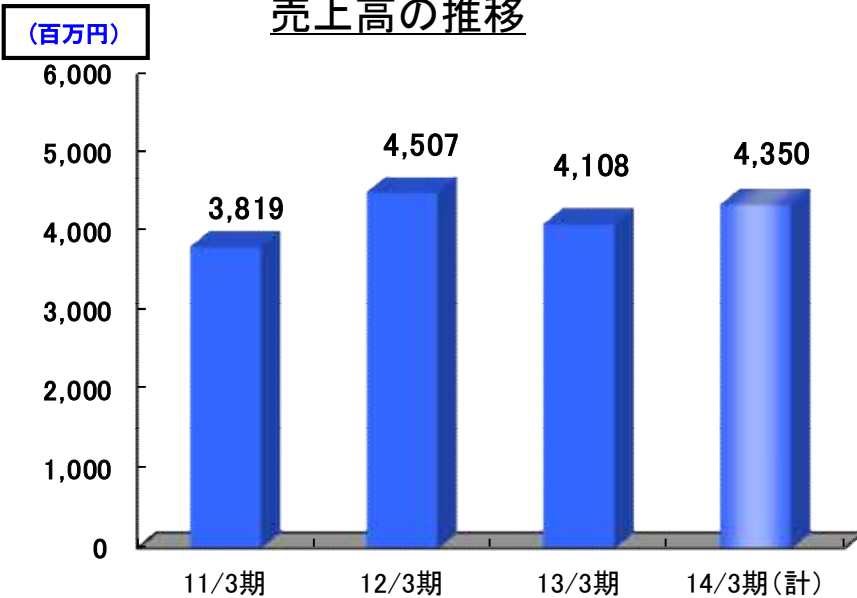
- 上半期前半までは低調に推移、その後回復に転じる
- 米国大手OEMからの受注が底打ちし、回復傾向
- 国内・アジア企業の投資再開で受注増が期待できる
- LED市場、横ばいの見込み

《施策》

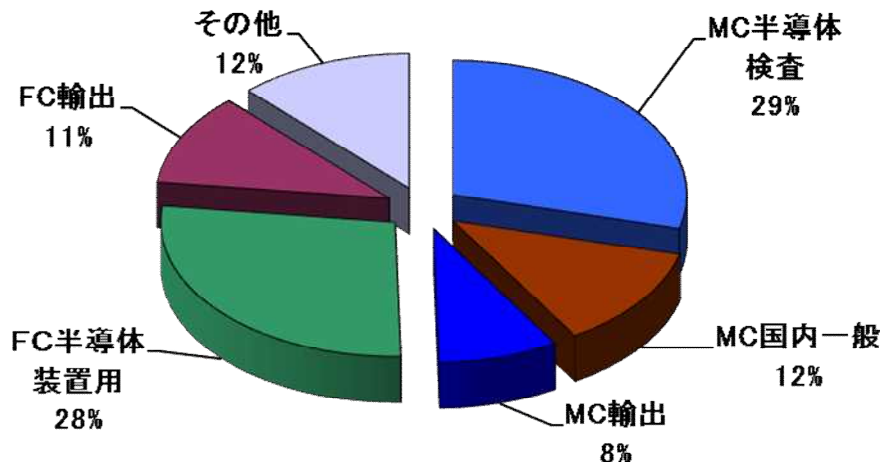
- 中国生産移管を拡大し、コスト低減を図る
- 米国、台湾企業の中国工場は潜在的な有望顧客、当社洗浄事業とコラボで売上増を狙う
- 超高純度/製品の認定取得のスピード化
- 台湾市場の営業強化・短納期・安定品質・カスタマイズ

セラミックス製品の状況と今後の見通し

売上高の推移



セラミックス製品の製品別販売シェア



注)FC: ファイン・セラミックス、 MC: マシナブル・セラミックス(ホトベール)

1. 13/3期 (1-12月)の業績

マシナブル セラミックス “ホトベール”

- Memory (N/Flash)・Non-Memory (Logic)とも、MobileDeviceの旺盛な需要に支えられ、日韓台半導体メーカー向主体に上期大幅増、下期に入り大幅在庫調整局面へ突入
- 有機ELパネル(OELD)製造装置用に、一般MCは新規用途拡大

ファイン セラミックス

- 全世界大手半導体メーカーの微細化等先端投資を受け11年末から緩やかな回復を辿ったが、MobilDevice大幅減産で各社投資の大幅減速で夏以降の受注は厳しい状況が続いた
- 輸出は米国向主体に大幅なシェアアップで売上増達成

2. 14/3期 (1-12月)の見通し

マシナブル セラミックス “ホトベール”

- 昨年から続くMobileDviceの在庫調整は完了したものの、実需の盛上りに欠ける状況は続く、上期末以降のMobileHandSet新機種発売需要増に期待。『MobileDevice間の戦い』の幕開けの年であり、価格面での値下げ要求は更に厳しくなること必至
- 一般MCは医療機器関連等の拡販を日米 欧向に積極展開中、新規開発品は新規採用に向け国内で具体化中

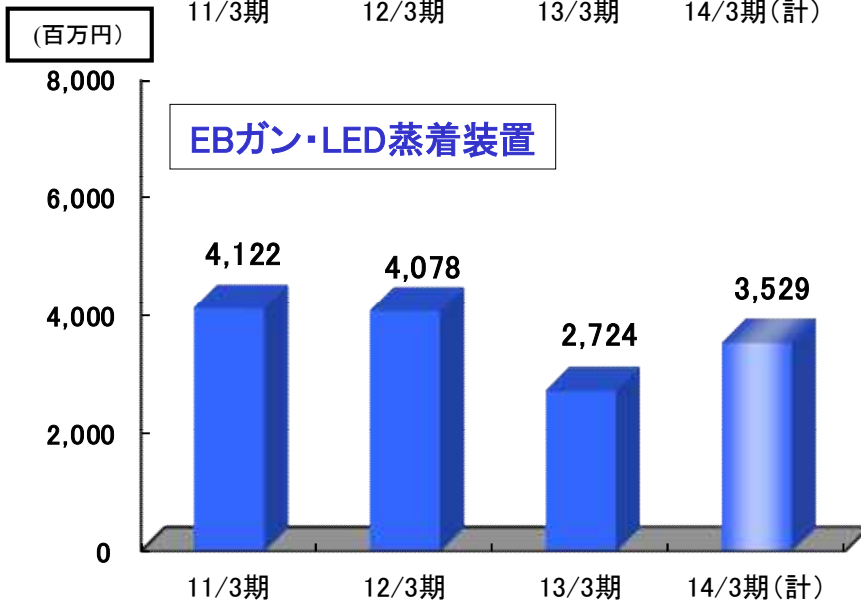
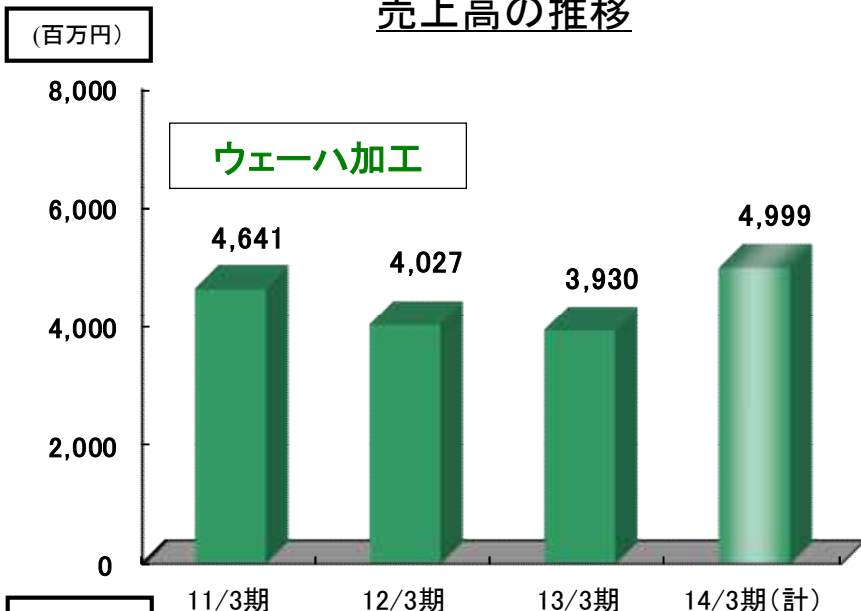
ファイン セラミックス

- 微細化投資は年初から台湾を中心に、日本一部Fabでも今春から再開、受注面は年初から回復局面へ、更に続く微細化投資に期待
- 輸出は米国向主体に拡販成果大きく、欧州向も販路積極展開・具体化中

3. 継続販売方針

- Wafer回路検査治具の新規需要家開拓と用途拡大の推進
- 米国、アジアに加え、欧州市場の新規需要家・用途開拓営業活動継続
- FC,MC共、新材料開発による拡販と販売競争力の強化

売上高の推移



半導体ウェーハ:

1. 13/3期の業績

- 半導体市場下期から急速に悪化、市況低迷・在庫調整で苦戦したが売上高は、ほぼ横ばいで着地
- 自社ブランド品:新たに韓国で認定取得
- 自社ブランド拡大対応の為、結晶・CVDを増設

2. 14/3期の見通し

- 全般に市況が回復、特に自社ブランド拡大見込み
 - 日本市場が依然として低迷見通し
 - ウェハー品種を増やし、顧客ニーズに応じて売上増を見込む
- 《施策》
- 量産拡大に対応した体制を整備
 - 設備増強 技術・品質等サービス体制を整備

EBガン・蒸着装置:

1. 13/3期の業績

- LED投資一巡で横ばい、モバイル用発信チップの需要あり

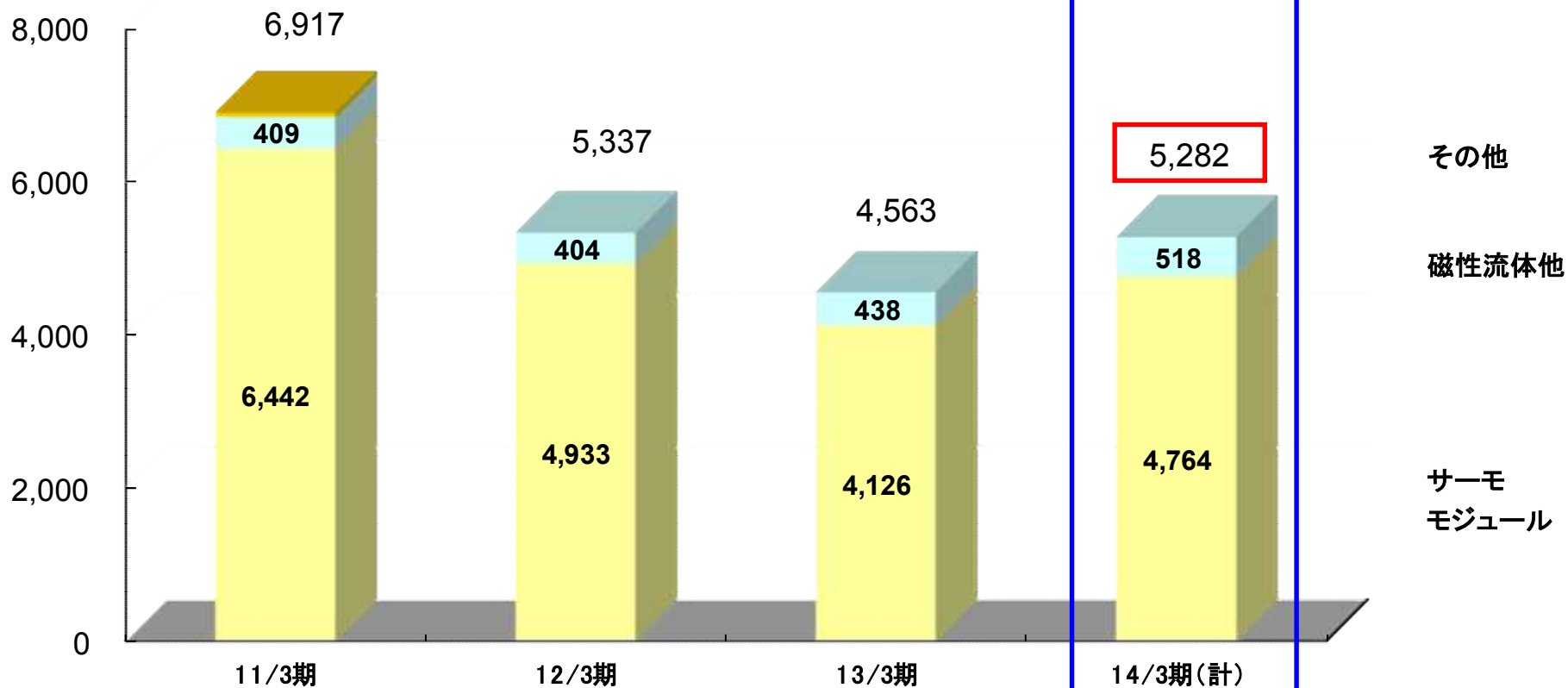
2. 14/3期の見通し

- 総じて横ばい下期より需要回復の見込み

《施策》

- 光学市場に的を絞り、受注活動開始
- 歩留まりを飛躍的に向上させた新機種を発表

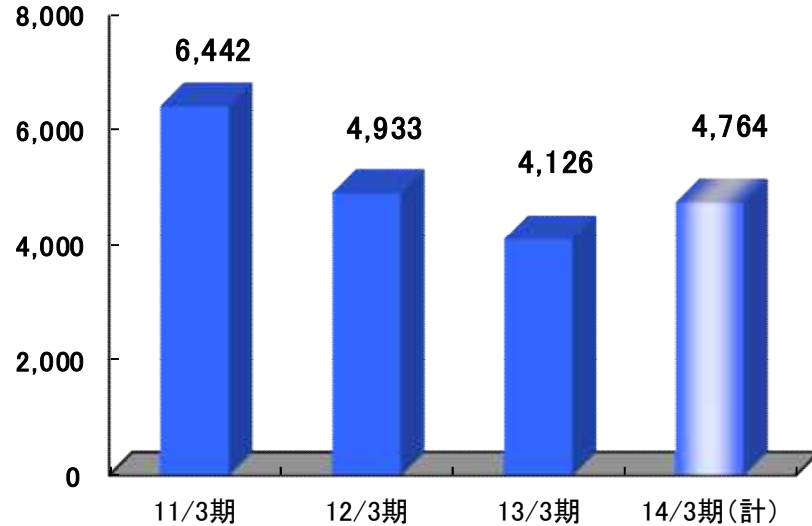
売上高
(百万円)



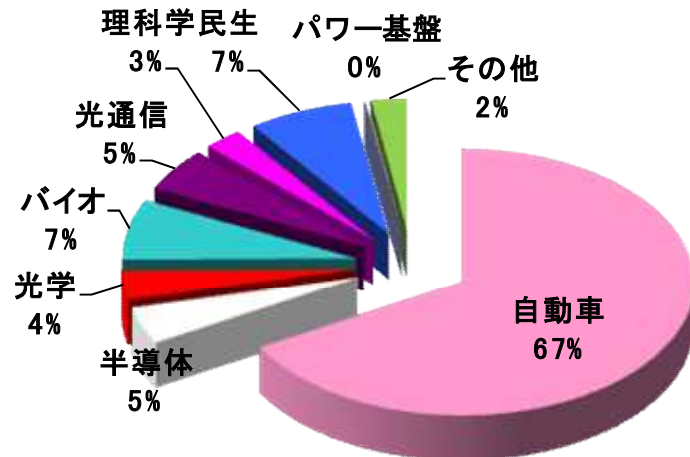
サーモモジュール製品の状況と今後の見通し

(百万円)

売上高の推移



サーモモジュールの業種別販売先シェア



1. 13/3期の業績

自動車温調シート

- ・ほぼ、計画のとおり推移した

その他の産業

- ・医療・バイオ機器・半導体・光学用は底堅く推移
- ・民生需要の低迷が影響し、売上高は伸びきれず
- ・半導体用途は下期需要低迷で苦戦

2. 14/3期の見通し

自動車温調シート

- ・新規採用機種の上上げプログラムあり増加の見込み

その他の産業

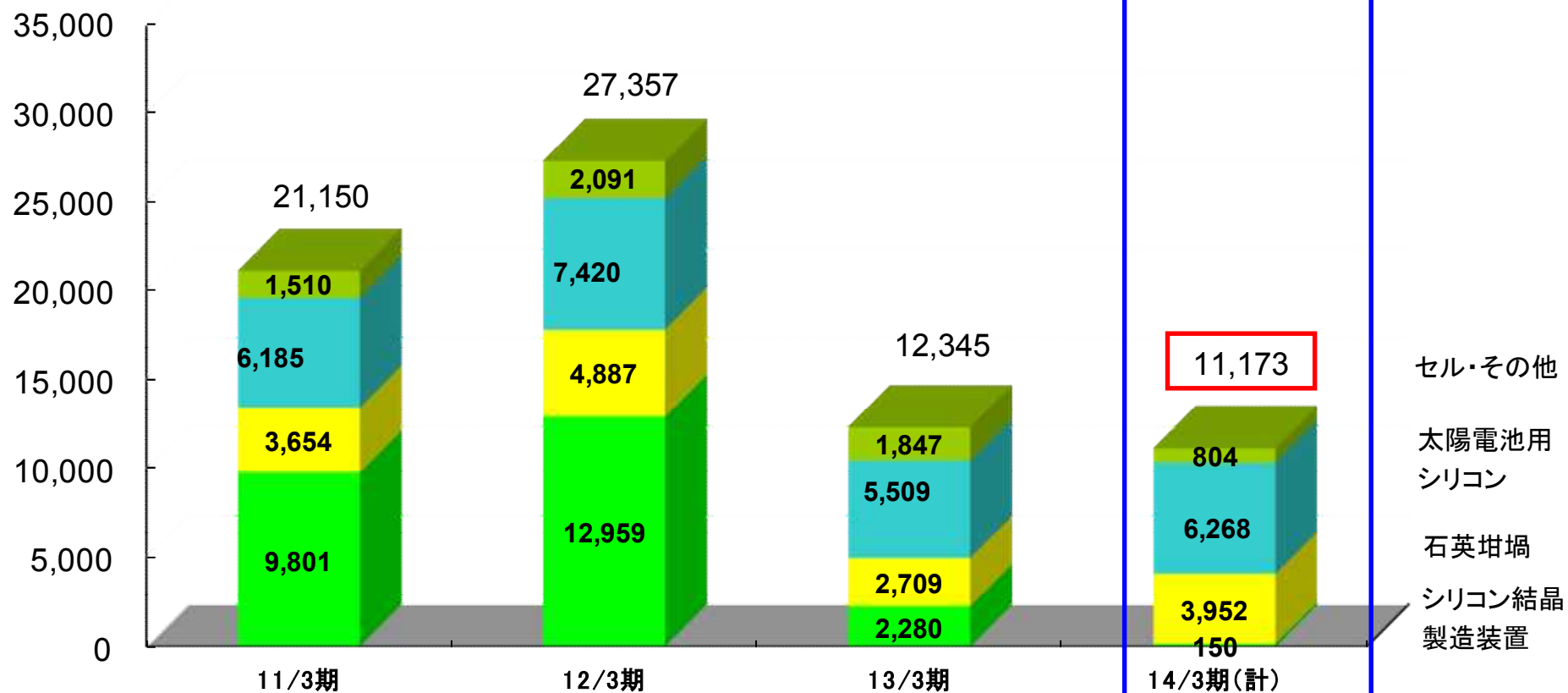
- ・民生、バイオ機器、半導体、光学用は堅調
- ・電気シェーバー、浄水器等の新規採用あり、増加の見込み
- ・パワーデバイス用基板を発売・認定を急ぐ

《施策》

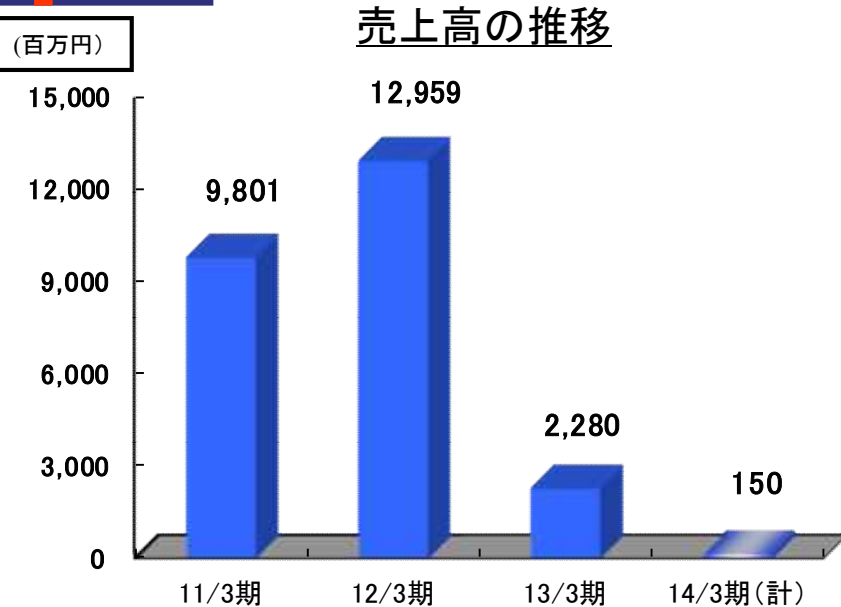
- ・米国、中国光通信市場のシェア拡大に注力する
- ・米国営業を強化し、高機能市場の拡大を進める
- ・生産ラインの自動化を推進し、固定費削減を目指す

太陽電池セグメント

売上高
(百万円)



太陽電池用製造装置の状況と今後の見通し



1. 13/3期の業績

- 市場は低迷を続け、装置受注は激減
- 引合い件数も減少の一途となり、R&D用途のみ
- 過剰設備により価格が大きく崩れ業界全体が毀損

2. 14/3期の見通し

- PV装置受注は見込まず
- 一般産業向け機器に転換し、生産設備を維持

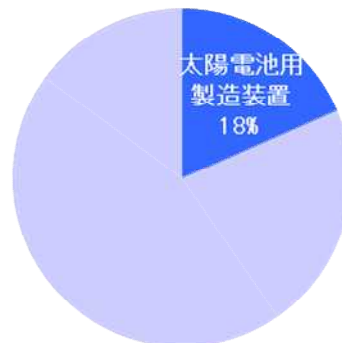
《施策》

- ガラス加工機、汎用研磨機、コアドリル装置などコア技術を応用する横展開
- 元来のCMS事業の復活を視野に入れた受注活動
- さらなる経営合理化に着手

太陽電池セグメントに占める

売上高構成比

2013/3期



単結晶引上炉



多結晶炉

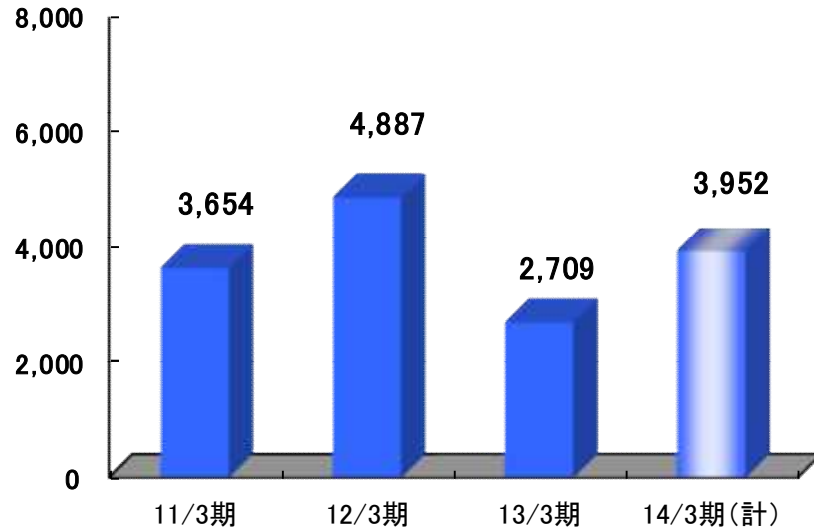


角切りワイヤーソー

坩堝の状況と今後の見通し

(百万円)

売上高の推移



単結晶用石英坩堝

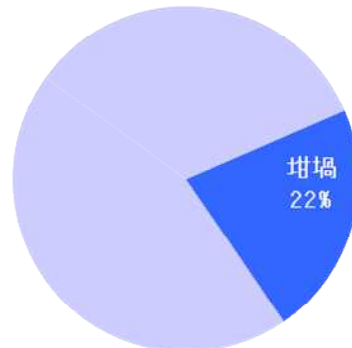


多結晶用角槽

太陽電池セグメントに占める

売上高構成比

2013/3期



1. 13/3期の業績

- 坩堝・角槽は通期で軟調に推移
- 銀川工場にPV用途向け移管、価格競争力確保
- 顧客稼働率が半減以下となり、生産調整が続く
- 半導体用途に着手し、客先認定の取得を開始

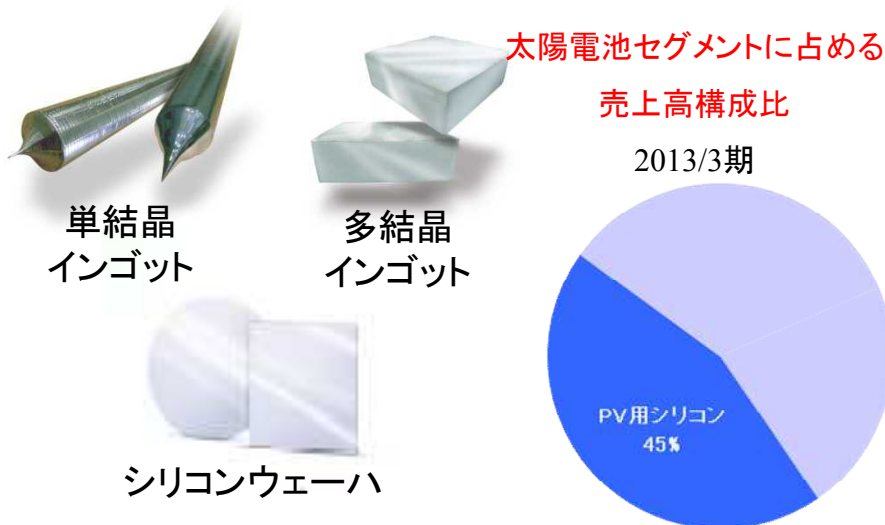
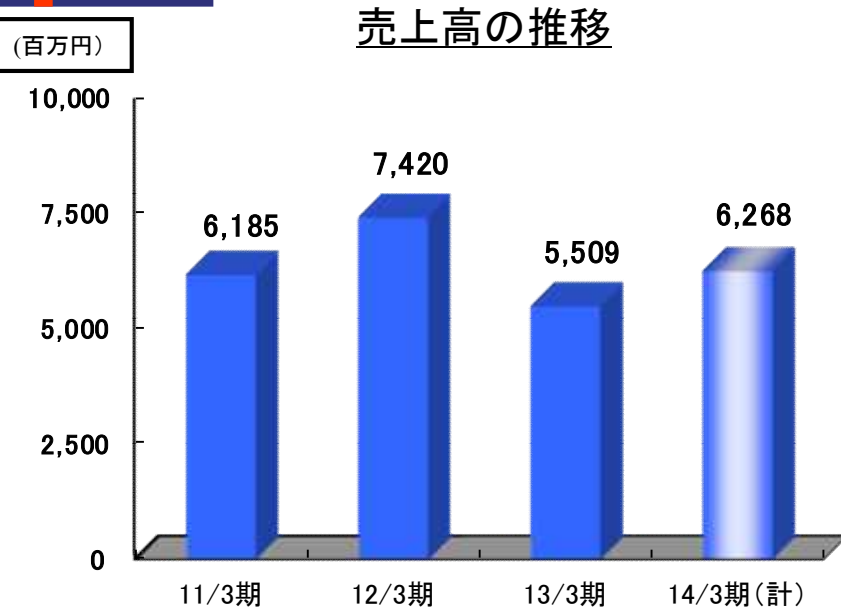
14/3期の見通し

- PV用途需要底打ちも値下げ圧力は続く
- 価格は下落するが、数量は増加の見込み
- 半導体用途向けの比率を徐々に上げる見込み
- 多結晶用の角槽は競合撤退で拡大の見込み

《施策》

- 長時間耐熱品の認定で競合との差別化を図る
- 銀川工場で原料リサイクル、精錬工程でコスト低減
- 半導体用途8インチの認定を急ぎシェアを伸ばす

太陽電池用シリコンの状況と今後の見通し



1. 13/3期の業績

- 市況の悪化は深刻さを増し、自社製品から撤退
- 原材料ポリシリコンの下落による評価損は、ほぼ終了
- 中国・米国・日本の需要は旺盛。欧州は下降

2. 14/3期の見通し

- OEMに転換、需要は比較的堅調の見通し
- 需要家の要求は高変換率かつ低価格製品
- 欧州の成長は止まったが、インド、東欧、中東、南アメリカなど新興地域で需要はじまる、日本・中国・米国は旺盛
- 価格は現状レベルで推移と予想

《施策》

- 結晶製造を銀川工場へ展開し、コスト削減
- OEM先の拡大
- 固定砥粒切断ウェーハで差別化
- N型製品のOEM受注確保